

# 民主々義は野球から

## — 米国発プロパガンダの受容

神田洋

1945年9月28日、「米国が日本に民主主義の何たるかを教へ込むつもりならば野球が一番よい」と主張する記事が読売報知と朝日新聞に掲載された。読売報知が「民主々義は野球から」と見出しを付けたこの記事は、ニューヨーク・ヘラルド・トリビューンの社説を同盟通信が翻訳し、配信したものである。本稿は日本でサンフランシスコ放送と呼ばれた米国のプロパガンダ放送の働きに焦点を当て「民主々義は野球から」が新聞に掲載された仕組みの解明を試みた。

記事は米紙に掲載される前にサンフランシスコ放送によって日本へ送られており、和訳記事配信のきっかけは、同盟通信が占領軍から受けた業務停止命令だった。またサンフランシスコ放送という語句が日米開戦を機に報道で多用され、戦後にプロパガンダを受容する素地となったことも明らかになった。「民主々義は野球から」の配信過程の解明は、日本が米国のプロパガンダを全面的に受容する過程を追う事でもあった。